※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅱ	3	2	・Blue Marble English Communication Ⅱ ・Blue Marble English Communication Ⅱ ナビゲーションノート ・Blue Marble English Communication Ⅱ ワークブック

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

さまざまな話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養います。そのための文法の知識と、語彙力を身につけながら必要な表現方法を学び、さらに、英語の音声に慣れ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。話すことはもっとも大切な活動のひとつですので、自分の考えを適切に伝えることができるように英語力をまんべんなくつける努力をしましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと

※令和４年度以降入学生用

学習到達目標	・比較的聞き取りやすい身近な話題や自分が関心を持つ社会性のある話題について、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・自分の得意とする分野に関する自然な早さで話されるスピーチや会話を聞いて(３～５分)、ポイントをつかみながらに概要を理解することができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。 ・身近なトピックについての短いニュースの要点を聞きとることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら聞くことができる。	・まとまりのある英文(説明、評論、物語、随筆など)を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨や詳細をとらえることができる。 ・説明、評論、物語、随筆などを、聞き手に伝わるように音読したり暗唱したりすることができる。 ・読む内容やジャンル、目的に応じて、読み方を変えることができる。 ・読んだ内容に関する質問に対して、文章中の適切な語句を用いて答えることができる。 ・文章の構成を考えながら読むことができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり調査したりして結論をまとめることができる。 ・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自分の意見を伝えることができる。 ・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら、説得力を持って、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。 ・与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを、情報や考えを整理し、その内容を発表することができる。 ・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら、説得力を持って、賛成や反対の意見を述べることができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように話すことができる。 ・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある文章を書くことができる。 ・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、つなぎの語やフレーズを活用して、書くことができる。 ・特定のトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を５パラグラフの形式で書くことができる。 ・説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 ・与えられた条件に合わせて、即興で書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法といった理解を深めるとともに、身につけた知識を実際のコミュニケーションの場面において、目的や状況に応じて適切に活用できる技能を身に着けている。	日常的な話題や社会的に話題について、手に入れた情報や自らの考えを整理し、状況や目的に合わせて外国語を用いて適切に表現したり伝えあったりしている。また外国語で与えられる情報や、話し手や書き手の意図などを的確に理解している。	コミュニケーションに関心を持ち聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら間違いを恐れずに積極的に外国語を用いコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４ 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson1 “Leadership in Modern Times” Lesson2 “The Diversity of Traditional Houses”	聞くこと	a: 新出語や Key Phrases、本文の論理展開を理解している。 b: リーダーシップ・世界の住居について、必要な情報を聞き取っている。 c: リーダーシップ･世界の住居について､必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 強調構文・倒置・省略・未来完了形に関する事項を理解している。 b: リーダーシップ・世界の住居について書かれた文を読んで概要を捉えている。 c: リーダーシップ･世界の住居について書かれた文を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 強調構文・倒置・省略・未来完了形に関する事項を理解している。 b: リーダーシップ･世界の住居について､基本的な語句や文を用いて話している。	パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

			c: リーダーシップ・世界の住居について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	
		書くこと	a: 強調構文・倒置・省略・未来完了形に関する事項を理解している。 b: リーダーシップ・世界の住居について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: リーダーシップ･世界の住居について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson3 “Improving Society with Avatar Robots” Lesson4 “Approaches to Food Waste”	聞くこと	a: 新出語や Key Phrases、本文の論理展開を理解している。 b: 分身ロボット・食品ロスに関する文章について、必用な情報を聞き取っている c: 分身ロボット・食品ロスに関する文章について、必用な情報を把握しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 助動詞+have +過去分詞・さまざまな受動態・完了不定詞/動名詞に関する事項を理解している。 b: 分身ロボット・食品ロスに関する文章を読み、話の展開や書き手の意図を把握している。 c: 分身ロボット・食品ロスに関する文章を読み、話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 助動詞+have +過去分詞・さまざまな受動態・完了不定詞/動名詞に関する事項を理解している。 b: 分身ロボット・食品ロスの話題について、簡単な語句や文を用いて伝えあっている。 c: 分身ロボット・食品ロスの話題について、簡単な語句や文を用いて伝えあおうとしている。	授業観察 スピーキングテスト
		書くこと	a: 助動詞+have+過去分詞の使い方や特徴、意味を理解している。 b: 分身ロボット・食品ロスの話題について、まとまりのある文章を書いている。 c: 分身ロボット・食品ロスの話題について、まとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	Lesson5 “Animals as Indispensable Partners” Lesson6 “An Irish Poet on a Mission”	聞くこと	a: 新出語や Key Phrases、本文の論理展開を理解している。 b: 人間の暮らしと社会をサポートする動物･マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について、必要な情報を聞き取っている。 c: 人間の暮らしと社会をサポートする動物･マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 人間の暮らしと社会をサポートする動物･マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について書かれた文を読んで、概要を捉える技能を身につけている。 b: 人間の暮らしと社会をサポートする動物・マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について書かれた文を読んで、概要を捉えている。 c: 人間の暮らしと社会をサポートする動物･マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について書かれた文を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 分詞構文・先行詞を含む関係副詞に関する事項を理解している。 b: 人間の暮らしと社会をサポートする動物・マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について自らの意見を話している。 c: 人間の暮らしと社会をサポートする動物･マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について自らの意見を話そうとしている。	パフォーマンス課題
		書くこと	a: 分詞構文・先行詞を含む関係副詞に関する事項を理解している。 b: 人間の暮らしと社会をサポートする動物・マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 人間の暮らしと社会をサポートする動物･マクミランの使命や日本文化への貢献に関する話題について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson7 “Be Free from Gender Bias” Lesson8 “The Diminutive	聞くこと	a: 新出語や Key Phrases、本文の論理展開を理解している。 b: ジェンダーバイアス・緒方貞子についての説明を、視覚情報なども参考にしながら理解している。 c: ジェンダーバイアス・緒方貞子についての説明を、視覚情報なども参考にしながら理解しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 比較の慣用表現・仮定法現在に関する事項を理解している。 b: ジェンダーバイアス・緒方貞子に関する文章を読んで、概要を捉えている。	定期考査 （リーディング）

※令和４年度以降入学生用

	Giant Who Fought for Refugees”		c: ジェンダーバイアス・緒方貞子に関する文章を読んで、概要を捉えようとしている。	
		話すこと	a: 比較の慣用表現・仮定法現在に関する事項を理解している。 b: ジェンダーバイアス・緒方貞子についての自らの意見を伝えあっている。 c: ジェンダーバイアス・緒方貞子についての自らの意見を伝えあおうとしている。	授業観察 スピーキングテスト
		書くこと	a: 比較の慣用表現・仮定法現在に関する事項を理解している。 b: ジェンダーバイアス・緒方貞子に関する話題について、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: ジェンダーバイアス・緒方貞子に関する話題について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3 学期	Lesson9 “Tackling Global Warming” Lesson10 “Keys to Finding Happiness”	聞くこと	a: 新出語や Key Phrases、本文の論理展開を理解している。 b: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについての文章を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについての文章を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて書かれた英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて書かれた文を読んで、概要を捉えている。 c: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて書かれた文を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 「懸念・問題点を示す」「つながり・影響を示す」機能表現を用いて自分の考えを話す技能を身に付けている。 b: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて、話している。 c: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて、話そうとしている。	パフォーマンス課題
		書くこと	a: 「懸念・問題点を示す」「つながり・影響を示す」機能表現を用いて自分の考えを書く技能を身に付けている。 b: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて、情報や考えを基にまとまりのある文章を書いている。 c: 地球温暖化・幸福度を高めるコツについて、情報や考えを基にまとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度